

神戸市シルバーカレッジ

# 同窓会会報



3号

2017年2月



須磨海浜水族園

イルカライブ(ショー)



## KSC同窓会 講演会

テーマ「やっぱり大切、瀬戸内海の恵み」

吉田 裕之 様 (須磨海浜水族園園長)

神戸市シルバーカレッジ

〒651-1102 神戸市北区山田町しあわせの村内

KSC : URL <http://kobe-sc.org>

KSC 同窓会 : URL <http://kscaumni.yokochou.com/>

編集・発行 KSC同窓会編集委員

Tel.078-743-8100 Fax.078-743-8103

E-mail: [scjyouhoushi@live.jp](mailto:scjyouhoushi@live.jp)

## KSC同窓会「吉田園長講演会」を聞いて

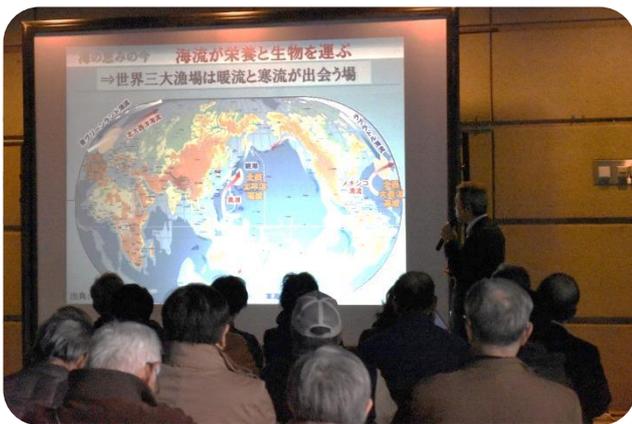


(日時) 平成29年2月27日 (月)

(会場) 神戸市立須磨海浜水族園

講演会にはシルバーカレッジ卒業生(1期生から20期生)の75名が来られ盛会になりました。

水越副代表の司会進行により片田同窓会会長の挨拶で始まり、また吉田裕之園長もパワーポイントを駆使して「やっぱり大切、瀬戸内の恵み」をテーマに丁寧に講演して下さいました。会場右手には大きな水槽があり、エイやサメ、沢山の種類の魚が泳いでいる横で話は臨場感があり効果的でした。会場の皆様はより一層話に興味を持たれたのではと思います。



講演中の吉田裕之園長

日本人の食卓に欠かせないさまざまな海の幸をこれからも長く食べ続けたい。そんな私たちの思いから瀬戸内の恵みを絶やさない方法を探ります。近年、地球環境の温暖化や様々な変化によって魚介類の餌になる植物性プランクトンや動物性プランクトンが減ってきています。その対策として海に植物を増やす事、海岸に砂浜を再生して遠浅にすること。プランクトンが繁殖するよな水質を目指し、流れの場をつくり、様々な環境を取り戻す大切さを聞きました。

吉田裕之園長は、1960年代に“川ガキ”として育つが、大洋にあこがれフランスの海洋学者ジャック・イブ・クストーに魅せられて海洋生物学を志す。鹿児島大学水産学部海洋生物学を専攻を1979年卒業し、海洋環境系のコンサルタント会社日本海洋生物研究所に就職。2014年4月に同園園長に就任。スキューバ潜水歴33年。水産水域環境と建設環境の技術士。岡山県出身60歳。

(健福 19期 中部周二)



## 「同窓会」20周年記念行事のお知らせ



(日時) 平成29年5月13日 (土)

13:30~16:00

(場所) 神戸市シルバーカレッジ・ホール

- ① 「同窓会総会」: 13:30~14:15  
28年度活動及び会計報告  
29年度活動計画案及び予算案
- ② 「兵庫県警・防犯講座」: 14:20~14:50
- ③ 「兵庫県警音楽隊・演奏」: 15:00~16:00



### 「演奏曲」

クラシック、ポピュラー、童謡、演歌 etc



### エッセイ「玄武岩の色は白か黒か」

(生環 16期 片田宏)

入社41年同期のある定例懇親会の席上で、城崎温泉(豊岡市)近くの玄武洞の玄武岩の色が白か黒かでもめた。全くどうでもいいことなのだが、光線の加減とか水分の含みで違うとか意見が百出。日々の生活には全く関係のないことだが、そこは老いの一徹、双方互いに譲らない。結局現地を確認しようとなった。閑人の考えることである。



そこで早速城崎温泉の「大江戸温泉物語」に予約。城崎温泉に行く途中「コウノトリ公園」に寄り餌付けを見、また資料館の見学をした。さて翌日目的地の「玄武洞」に到着。真近に現物を調査。玄武洞は約160万年前の火山の噴火により噴出されたマグマが冷却され溶岩の暑い層が形成された。その際降の巣同様力学的に一番安定した六角形の形となった。玄武岩でできているから玄武洞と呼ばれているのと思っていたが全く逆で玄武洞にあるから岩石名を玄武岩と命名したそうである。玄武洞には玄武の他に白虎、青龍、朱雀の洞がある。さて、問題は今回の旅の目的である玄武岩の色である。みんなそれぞれの思惑の中で見るからある者には限りなく白く見えるし、またあるものには全くの黒光りがする岩石である。青龍、朱雀とあるから青の石も、赤の石もある。

処で今回の旅の目的であった玄武洞の石の色は結局は何色で決着したかと言うとグレー でした。